



のぞみ 希望

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/sugita>



夏の思い出…「色」

校長 若色 昌孝

♪夏が来れば 思い出す はらかな尾瀬 遠い空…

私は、実は尾瀬に行ったことはありません。尾瀬には行ったことはありませんが、夏が来ると必ず思い出す「色」があります。

小学校の1年生だったでしょうか、2年生だったでしょうか。ある晩、父が「明日の朝は早起きだぞ。」と言いました。「いいものを見に行こう。」と。・・・「いいもの？」私には、それが何を指しているのか分かりませんでした。

翌朝、かなり早く起こされました。まだ暗かったので、朝の3時とか4時とかだったのでしょうか。眠い目をこすりこすり家から歩いて行かれる綱島公園（横浜市港北区…公園と言うより、子どもの私からすれば「山」でしたが）に向かいました。公園に入ると、父は道を外れ、懐中電灯を手に、林の中に進んで行きました。林の中はさらに暗く、父を見失うのではないかと心細く感じました。父は木を一本一本確かめるようにして、林の中をずんずん進み、ある一本の木で止まりました。「昌孝、ここだ。座って…」父が指差した先には、まさに今、土から出てきたセミの幼虫が、木を登り始めていました。私は、これから始まろうとしている出来事に胸をワクワクさせました。ゆっくり、でも力強く木を登る幼虫。30分だったのか1時間だったのか、ほぼ私の目の高さまで登った幼虫は登るのをやめ、ピタッと止まりました。ごくりと唾をのみました。それから身をよじるような動きを見せ、背中がぱりぱりと割れました。まずは、のけ反るように頭を出し、その後からくしゃくしゃな羽が。目の前で起こっている命のショーに、私は一秒たりとも目を離せませんでした。くしゃくしゃの羽は、見る見る伸び、今までに見たことのないような、薄緑の透明な羽となりました。なんて綺麗な！

この薄緑が、私の夏の思い出の「色」です。あれから40年以上たちましたが、あのとき以上に色を強く意識しことはないかもしれません。

空も明るくなり、父と私はその木を去りました。あのセミは、アブラゼミだったのでしょうか…、ミンミンゼミだったのでしょうか…。



2018年の夏、

杉田小の子どもたち一人ひとりが、「あの夏に…」と思えるような、そんな夏になることを願いつつ……。